

みんなの参加コーナー

赤ちゃん登場！



すぎもと ゆうせい
杉本雄星くん
令和元年6月11日
野田町



つづきたくま
都築拓真くん
令和元年6月17日
富士見町



いわせ あん
岩瀬 杏ちゃん
令和元年6月17日
一里山町



やまもとちはや
山本千颯くん
令和元年6月22日
板倉町



やまもと さら
山本紗良ちゃん
令和元年6月23日
板倉町



つかもと めいさ
塚本葵皐ちゃん
令和元年6月26日
今川町



くろだ せい た
黒田晴太くん
令和元年6月29日
稲場町



うちだ こう た
内田幸汰くん
令和元年6月30日
場割町

ギャラリー



「やきいもしたよ」

まつした そう ま
おがきえ保育園 5歳児 **松下颯馬くん**
保育園でとったお芋を公園のパーベ
キューするところで焼いて、やきいもし
たよ。パパが焼いてくれたんだ。お芋
は、アツアツで甘くて、みんながおいし
いって言ってくれて、嬉しかった。ぼく、
頑張ってお芋を掘ってよかったな。



「花火大会の夜に」

みょうどう ゆ め
小高原小学校 3年 **明道由芽さん**
花火大会に行くとき、わたしの家ぞ
くは光るぼうと光るプレスレットを持
って行くので、そのことを思い出して
同じ色にして、光っているようにぬりま
した。

こんにちは！

令和2年度森三郎童話賞子ども部門 最優秀賞

かみやももか
神谷桃花さん (朝日中1年)

普段から本をよく読み、読書が大好きだと話す神谷桃花さん。刈谷出身の森三郎の作品の感想文や創作作品の中から優秀な作品が選ばれる森三郎童話賞子ども部門で最優秀賞を獲得しました。

神谷さんは図書館によく訪れており、1回に10冊もの本を借りて読んでいるそう。ファンタジーやSFなどのジャンルを中心に「題名を見て面白そうだと思った



ものの中から選んで読んでいます」と話します。

そんな読書家の神谷さんは森三郎の作品を「何度も読み返さない作家が何を伝えたいのかわからない。しかし、そこにひねりがあって面白い」と語ります。読書好きが高じて応募した昨年の森三郎童話賞では優秀賞。今年は新型コロナウイルスの影響で夏休みが短縮されたため、自由参加となりましたが、何か目標が欲しいと考え、書くことを決めました。選んだ作品は「鼓大名」。わずか1日で本を読み、下書きから清書まで仕上げたというから驚きです。書いた当時は「あまり上手く書けた実感はなかった」と話す神谷さんですが、自身の思いを見事に言葉で表現できている点が評価され、最優秀賞に輝きました。受賞について「まさか一番



良い賞を受賞できるなんて思っていなかったからびっくりした。本当にうれしい」と笑顔を見せてくれました。

図書館に新しい本が入ることをいつも心待ちにしているという神谷さんの将来の夢は学校の先生。子どもたちに読書の楽しさやすばらしい本を紹介してくれる素敵な先生になってくれるのが楽しみです。